

医療事故の再発防止に向けた
警鐘レポートNo.4

気管切開術後の患者ケアに関わる医療従事者の皆さまへ

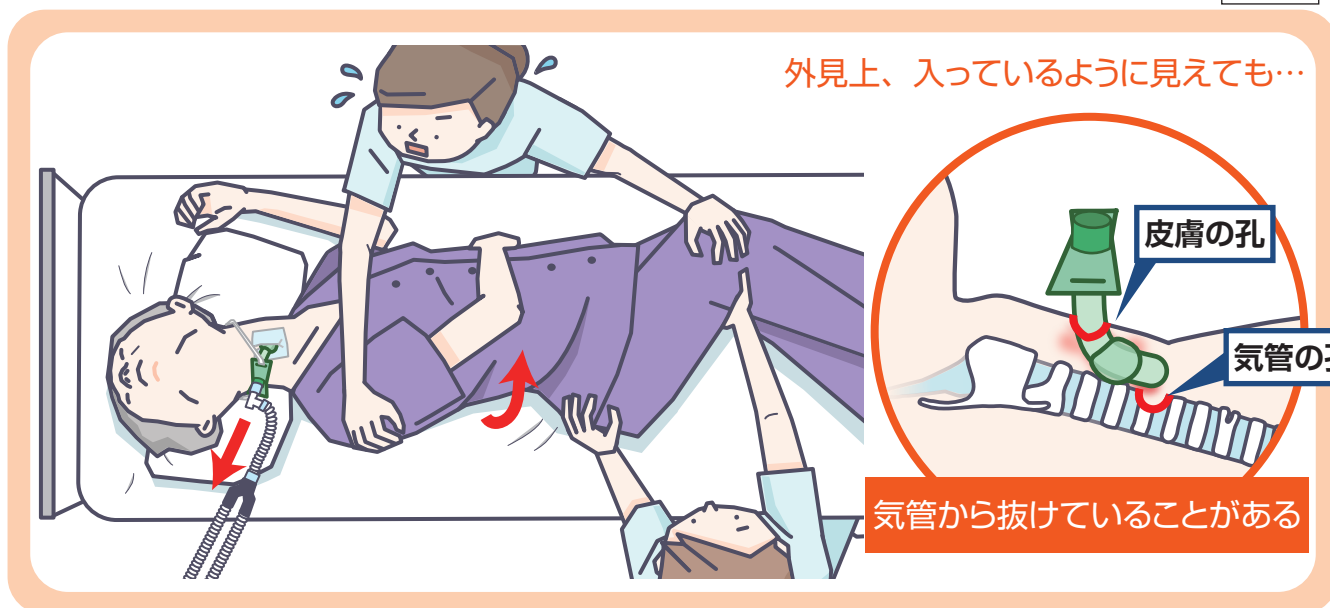
提言第4号
続報

気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

提言第4号（対象事例5例）の公表（2018年）以降も
術後2週間以内に逸脱・迷入が発生し死亡した事例が21例報告されています。

❗ 体位変換時の発生が15例/21例

※対象事例の概要はこちら

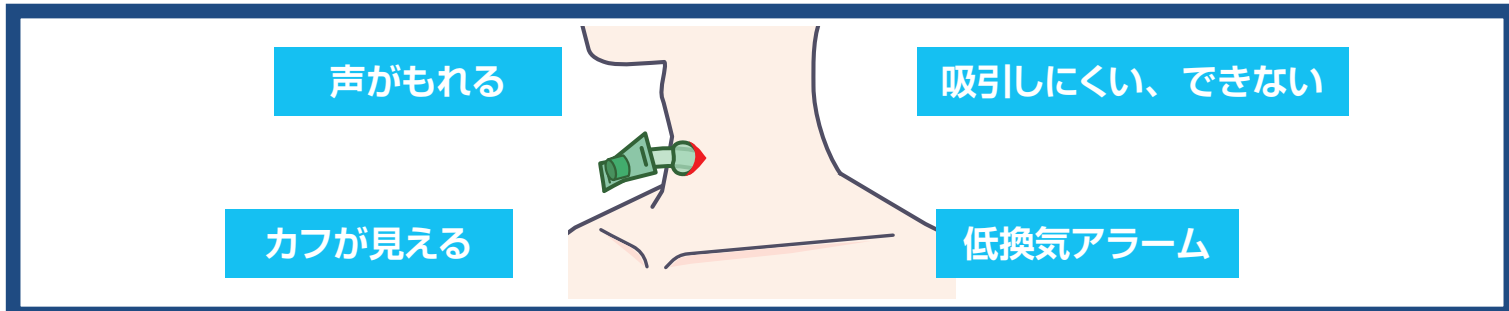


🎯 体位変換時のポイント



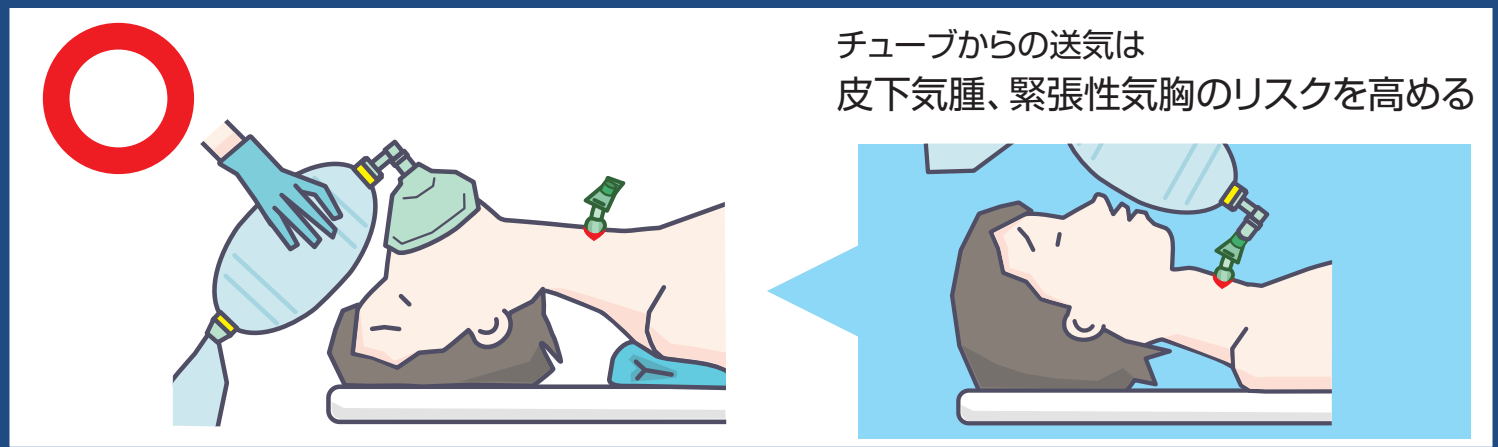
※イメージ図（体位変換の手順を示すものではない）

！逸脱・迷入が疑われる徴候

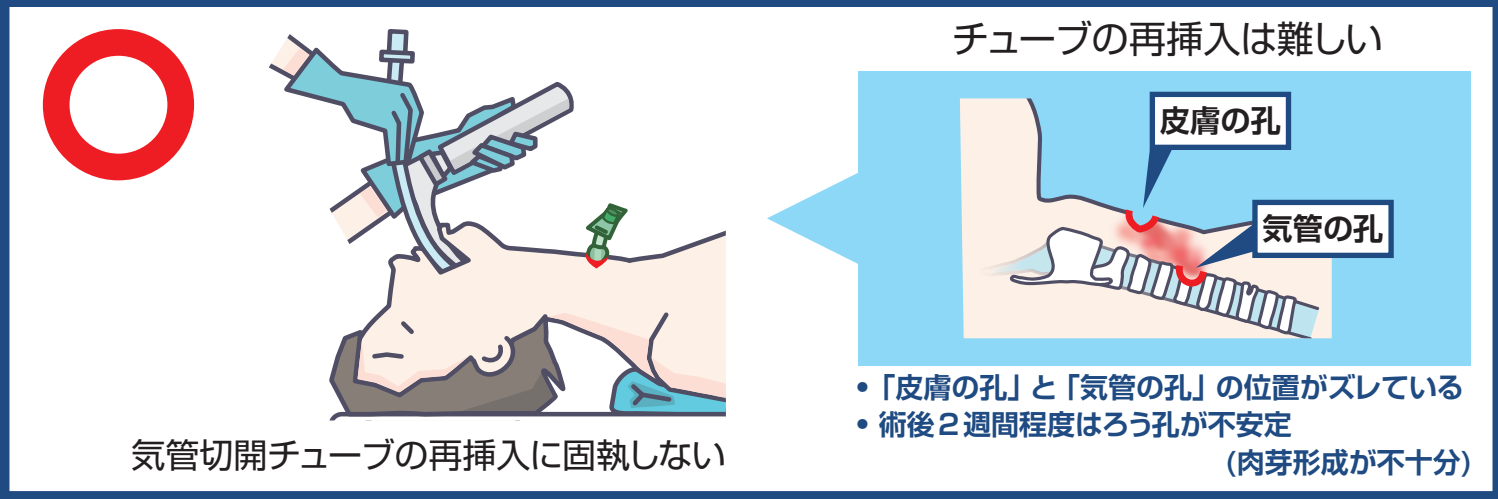


◎逸脱・迷入が疑われる時の対応

① 経口換気を行う

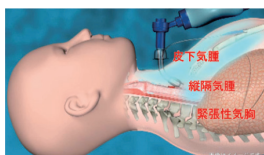


② 経口挿管に切り替える



提言第4号「気管切開術後早期の気管切開チューブの逸脱・迷入に係る死亡事例の分析」

動画



■ 逸脱・迷入を疑う状況での再挿入・換気の危険性等

再生時間：約5分



提言書



*警鐘レポートは、専門家で構成された専門分析部会が検討・作成し、再発防止委員会で承認されたものです。

*警鐘レポートは、報告された死亡事例をもとに、死亡に至ることを回避するという視点で作成しており、これらの対策ですべての事象を回避できるものではなく、また、個別の患者の状況等によりこれらの対策が困難な場合や、最善でない場合も考えられます。

*この内容は将来にわたり保証するものではなく、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするためのものではありません。